



## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○新設教科「社会創造科」を設置し、活動に取り組んだ

### 新設教科「社会創造科」

#### ア「社会創造科」設置の趣旨

多様な価値観から生じる様々な問題を抱える現代社会において、私たちは主体的に、現在の生活レベルを維持しつつ、次の世代も含めたすべての人々に、より質の高い生活をもたらす社会を開発していかなければならない。そのためには、「持続可能な社会を創り上げる資質・能力」を備える人を、様々な立場の人と共に育成する必要がある。そのような資質・能力とは、現代社会の様々な問題に主体的にかかわりながら、従来の枠組みにとらわれず、新たな発想で他者と手を携えながら解決していく問題解決能力である。そこで、当校では、子どもたちが様々な問題に立ち向かって、「持続可能な社会を創り上げる資質・能力」がはぐくまれるとともに、身の回りや地域に対する認識とこれからの社会を創り上げる態度を培うために、「社会創造科」を設置した。

#### イ「社会創造科」ではぐくむ資質・能力

「社会創造科」ではぐくむ資質・能力は、「持続可能な社会を創り上げる資質・能力」である。それは、①現代社会の様々な問題に主体的にかかわっていくという意味での「自己を推進すること」、②そのような問題に、様々な他者と手を携えながら取り組んでいくという意味での「相互に交流すること」、③そのような問題を解決するために、従来の枠組みにとらわれず、新たな発想を具現していくという意味での「新たに開発すること」である。これら三つの資質・能力は、身の回りや地域で現実に行き起きている問題について、「持続可能な社会の創造」の視点から探究する中で働く。また、その問題を、そこで生き実際に活動している人たちと共に解決する実践や、それに接近する体験の中で働く。そして、そのような実社会の実体へ参加し、資質・能力を働かせる経験を積み重ねることによって、それらの資質・能力ははぐくまれると考えられる。

#### ウ「社会創造科」の目標

身の回りや地域の人と深くかかわりながら、「持続可能な社会の創造」の視点に立って、実践的かつ探究的に学習・活動をすることを通して、「自己を推進すること」「相互に交流すること」「新たに開発すること」という三つの資質・能力を高めるとともに、身の回りや地域に対する認識を深め、これからの社会を創り上げる態度を育てる。

#### エ「社会創造科」の学習内容

本年次、イで述べた資質・能力を子どもが働かせながら獲得する学習内容を以下のように設定した。

##### I 持続可能な社会を創り上げるための重要概念

###### A 人を取り巻く環境（自然・文化・社会・経済等）に関わる概念

・有限性や多様性、相互性の視点からとらえる意味 等

###### B 人（集団・地域・社会・国等）の意思や行動に関わる概念

・連携性や責任性の視点からとらえる意味 等

##### II 持続可能な社会を創り上げる活動に関わる技能

###### A 「自己を推進すること」に関わる技能

・自己評価・振り返りの仕方、目標設定の仕方、計画立案の仕方等

###### B 「相互に交流すること」に関わる技能

・他者理解の仕方、目標を共に設定したりビジョンを共有したりする方法、話し合いの仕方、メモの取り方、アンケートの取り方等

###### C 「新たに開発すること」に関わる技能

・情報の把握・分析の仕方、試行修正の仕方や論理的思考の仕方、創造的思考の仕方、プレゼンテーションの仕方等

## オ「社会創造科」の指導方法

「社会創造科」は、発達段階に応じて実社会の実体へ参加することを通して、資質・能力を働かせて、学習内容を獲得することを目指す。そのために、地域の人とかかわることはもちろん、認識や社会性の発達及び校種間の接続を考慮して、年齢や学年をまたいで適切に段階を設定し、それを学習・活動の母体として取り入れる。当校園では次のようにしている。

発達段階	実社会の実体への参加	具体的な活動例
第2ステージ (5歳児後半～小2)	身の回りの人と共に遊んだり活動したりして、ひとものことへの愛情を感じ、愛着をもつ。	・身近な自然、人、社会に触れる遊びや活動
第3ステージ (小3、小4)	地域の人とかかわり、ひとものことへの愛情・愛着を深め、それらを守ろうとする。	・身近な地域の人の思いや願いをとらえるインタビュー ・身近な地域の人の活動への協力
第4ステージ (小5～中1)	地域の問題を様々な立場からとらえ、その問題に対して地域の人と共に考える。	・地域の人の思いや願いをとらえるインタビュー ・問題の解決に向けた地域の人との話し合い
第5ステージ (中2、中3)	地域の問題解決に向けて、地域の人と手を携えて実際に取り組む。	・地域の人とのプロジェクトの共同企画・実施 ・問題に対する考えの提案・発信

社会創造科における「実社会の実体への参加」を、以下の問題解決のプロセスとしてとらえる。

「出会う・気付く」→「調べる・問題をもつ」→「考える」→「行動する」→「評価する」

このプロセスは段階的・直線的に進行するとは限らず、前のプロセスに戻って進むこともある。「実社会の実体への参加」の様相は、特に「行動する」プロセスに強く表れる。子どもが発達段階に応じて、各プロセスで働かせることが期待される資質・能力を明確にして、単元を計画する。

## カ「社会創造科」の評価

子どもが自らの学びや成長を多面的・多角的にとらえるために、ポートフォリオ評価を行う。

- ・作品化（活動過程を振り返って自分なりにまとめて発信）
- ・自己評価
- ・他者評価（仲間からの評価、地域の人からの評価、教師からの評価等）

# 「社会創造科」の実際

それぞれの単元には、右のような学習のプロセスに、  
資質・能力を働かせる活動を位置ます。（第3ステージ  
の例参照）

【「社会創造科」の問題解決のプロセス】

出会う ◯ 知る ◯ 考える ◯ 行動する ◯ 振り返る  
・気づく

【そのほか】

新編長岡校課程「社会創造科」単元配列  
（代表的な単元を一部抜粋したもの）

テーマ

例：協力していただいた地域の方  
と一緒に活動した仲間  
「単元名」

第2ステージ  
5歳児後半～小学1・2年生

身の周りの人との遊びや活動を通して、ひと・もの・ことへの愛憎・愛着を深める。

例：小学1年生・幼稚園年長児  
「つくってあそんでなかよしに、  
～ようこそ仲良し楽しいランドへ」



幼小合同

例：小学1・2年生  
「いっしょにあそんでひろがるなかま」



幼小合同

幼小合同

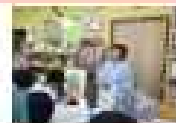
例：小学2年・  
幼稚園年長児  
「お店屋さん、  
ごっこをしよう」



例：小学6年生  
「あそびはっけん、  
だいすき、  
すよしがわ」



例：地域のお店・施設  
「町探検にいこう」



幼小合同

例：小学1年生・幼稚園年長児  
「雪で作って一緒に楽しもう、  
～スノーヤッホーハウスを  
鬼から守ろう～」



幼小合同

例：小学2年・  
幼稚園年長児  
「手作りおもちゃの遊園地をつくらう」



**第3 ステージ** 小学3・4年生  
 地域とのかかわりを通して、ひと・もの・ことへの愛情・愛着を深める。

**小学3年**  
 場：長岡市森林インストラクター  


**小学3年**  
 場：山古志支所農業施設 長岡市緑地管理協会  


**小学3・4年**  
 場：3・4年生児童「みんなでつくろう 仲良しフェスティバル」  


**小学4年**  
 場：長岡地域振興局「栢吉川の今と未来」  


**小学4年**  
 場：長岡社会福祉協議会「目と耳が不自由な人とお話ししよう」  


「社会創造科」の学習プロセス 例

場：長岡地域振興局「栢吉川の今と未来」  
 栢吉川でしゅんせつ工事があることを知り、生き物にどのような影響があるのか調べたいと考えた子どもたち。工事に携わる人の話を聞き、生き物が棲む環境を守るために、栢吉川に棲む生き物の生態を伝え、配慮して工事を行ってほしいことを提案した。

出会う・気付く	調べる・理解をもつ	考える	行動する	評価する
・栢吉川の観察 ・情報の共有 	・資料情報収集 ・情報収集 ・情報収集 	・資料情報収集 ・計画立案 	・計画の実施 ・活動の振り返り 	・レポート発表会 
発表の場	情報収集・調べ	立案・計画	実行・実施	振り返り

学習内容Ⅰ：栢吉川の生き物が工事にどのような影響を受けるのかを調べ、生き物とのかかわりについて考えた。(相互性・有償性)  
 学習内容Ⅱ：振り返りレポート、仲間との話し合いの仕方、工事に携わる人への提案の方法

**第4 ステージ** 小学5・6年生、中学1年生  
 地域の問題を様々な立場からとらえ、地域の人と一緒に考える。

**子育て**  
 場：市内子育て支援施設「子育てを考えよう」  
 利用者との対談  
  
 施設訪問 保育士や利用者との対談  


**地域活性化**  
 場：長岡市役所、長岡市大手通中心商店街振興組合、長岡市商店街連合会  
 「活性化に向けた『よりのよい街プラン』を提案しよう」  
 商店街の方からの説明  
 商店街の方へインタビュー  
  
 施設訪問

**地域の技術**  
 場：長岡市内の紙管会社  
 「製品の技術を生かした職員アイデアを提案しよう」  
 会社訪問  
  
 完成した製品の一例  
  
 社長へ直接提案  


**エネルギー**  
 場：長岡市役所（環境課）  
 「これからのエネルギーのあり方を考えよう」  
 市の職員へ提案  
  
 施設訪問  
  
 環境委員会  


**小・中の合同授業**  
 第4ステージは、小学5・6年生と中学1年生の、異校種合同授業を行います。  


- (2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)
- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
  - 時間外活動の時間を使用
  - ユネスコクラブの活動として実施
  - その他 ( )